

通年事業 北九州エコライフステージ2006

開催目的

- 市民・企業・学校・行政のパートナーシップによる、環境首都づくりを実践する。
- 様々な主体がそれぞれの地域で環境活動の実践・交流、情報発信を行い、連携・協力を図りながら「環境の環」を拡げる。
- 市民団体・企業と市民の交流による新たな環境活動の創出を目指す。



事業概要

開催期間	4月1日(土)～2007年3月31日(土)
会場・行事数	95ヶ所北九州市内全域 行事数 96行事
企画・運営への参画者数	5,938名<協力者数>385団体・78企業・5個人
一般市民の参加者数	429,267名
情報提供によるPR	新聞:27回掲載、地方情報誌:3回掲載、TV:5回以上放送、ラジオ:5回以上放送

成果

- 年間を通じたエコライフの推進を図ることによって、エコライフステージの参加者が大幅に増加し、「環境の環」と「環境に対する意識の高まり」が市民に着実に浸透している。
- 今年度もエコライフステージへの協賛が、32企業・団体（昨年度28企業・団体）より寄せられており、環境市民の活動を地元企業が支える仕組みづくりが定着しつつある。
- 環境情報のネットワーク（エコライフネット）の構築により、年間を通じてのエコライフ情報の収集、発信、交流が可能となった。
- 公募制による8つのワーキンググループ企画を実施することによって、環境活動団体における企画の主体性が高まった。
- 交流会の充実を図ることによって、エコライフステージ企画に市民の意見を取り込むことができた。

課題と今後の展開

推進体制の充実

新たな環境活動を発掘するため実行委員会のあり方を検討し、再構築を含めた推進体制の充実を図る。

環境情報の受発信

インターネットを活用した情報共有・交流のポータルサイト「北九州エコライフネット」を使った環境活動の交流を促進するために、さらに使いやすくするための改善や適切な運営管理を検討する。

年間を通じた環境活動の充実

今年度より、エコライフステージを通年事業と位置づけ、環境活動の拡大を図ってきたが、まだ通年という意識が薄いため、強化月間（10月～11月）以外の環境活動の充実を図る。